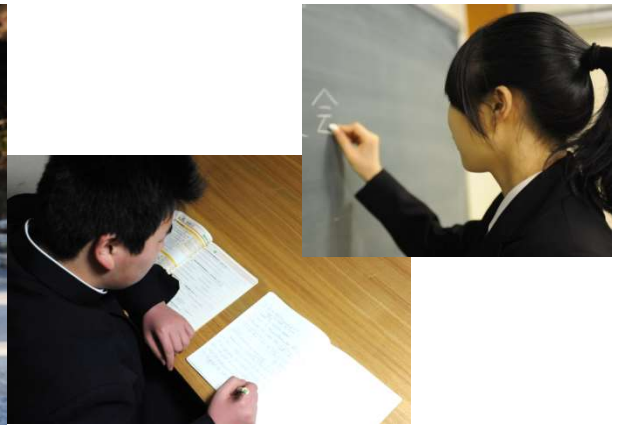


# 東日本大震災 子ども支援募金 ユネスコ協会 就学支援 奨学金



東日本大震災後、津波による家屋の流失・損壊や原発事故の影響による避難などの理由から、被災地の多くのご家庭で経済状況が著しく悪化しました。

日本ユネスコ協会連盟では、被災地の子どもたちが経済的な理由で夢や進学をあきらめることなく安心して学校に通えるよう、奨学金の支援を行っています。

一人でも多くの子どもたちの「あした」のために、皆さまのご協力をお待ちしています。

これまでにユネスコ協会就学支援奨学金を  
給付した生徒数

2,594名



主に、高校進学を希望する中学3年生を対象に、一人当たり3年間の奨学金を支援しています。奨学金は、日本ユネスコ協会連盟から奨学生一人ひとりのご家庭に、直接支援しています。

誰のために使われるの？



津波による家屋の流失・損壊や原発事故による避難などの理由により、著しく経済状況が悪化した世帯の子どもたちのために使われます。(震災による遺児・孤児を除く)

どの地域に使われるの？



岩手県、宮城県、福島県の3県で被害の大きかった市町村を特定して実施しています。

奨学生はどんな支援を受けられるの？



奨学生1人あたり  
2万円/月額を3年間  
給付します。(原則)

給付型(返還不要)の  
奨学金です。

## 募金方法について

※寄附額は任意です。

■銀行からお振り込みいただく場合  
以下の本奨学金の専用募金口座までお願いいたします。

三菱東京UFJ銀行 神田支店  
(普) 0297275  
シャ) ニホンユネスコキョウカイレンメイ

※本口座における送金手数料は、三菱東京UFJ銀行以外の銀行からでも、全国銀行協会に加盟している銀行からであれば、銀行窓口で「手数料免除口座」であることをお伝えいただくと、送金手数料は免除されます。(窓口扱いのみ) ※東日本大震災の支援に係る手数料免除口座の詳細については、全国銀行協会のホームページにてご確認ください。  
※当協会連盟へのご寄附は、寄附金控除の対象となります。

### ■その他の募金方法

- ▶ 毎月定額を募金していただく方法(口座振替)もございます。
- ▶ クレジットカードによるお手続きもございます。

### ■郵便局からの募金

(注) 郵便局の口座は送金手数料がかかります。

00190-7-611160

加入者名; ユネスコ

※備考欄に「就学支援」とご記入下さい。

■領収書をご希望の方は、お手数ですが、当協会連盟までご連絡ください。

より詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

[www.unesco.or.jp](http://www.unesco.or.jp)

ユネスコ

検索

ご寄附に関するご質問は、お気軽にお問い合わせください

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 就学支援係 (平日9:30~17:30)  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1-12F TEL:03-5424-1121



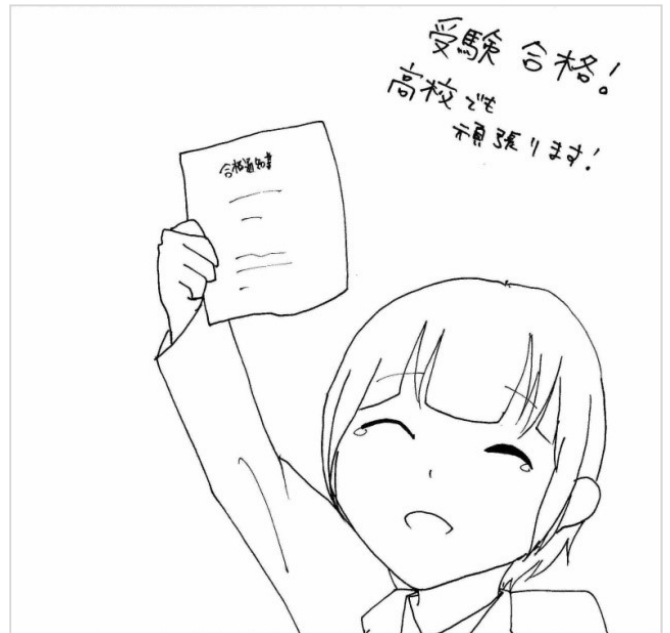
公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟

# もっとたくさんの「あした」を叶えるために



避難生活も今年で5年目を迎えました。東日本大震災当時、私は小学4年生でした。運動着と上ばきで、避難先を転々としたことが昨日のここのようです。今でも信じられません。そして、その日から、今日まで、たくさんの方々にお世話になりました。そのおかげで、落ち着いた生活ができていることに感謝しています。私は今、高校受験に向けて勉強に励んでいます。今回、このような奨学金を支援していただき、本当にありがとうございました。この奨学金で自分が志望する高校に進学して「教師になる」という夢に向かって頑張りたいと思います。

奨学金を給付して頂いた事により野球を続ける事が出来ました。今は甲子園目指して日々練習に取り組んでいます。将来、銀行員になるために大学に進学し更に頑張ります。  
この奨学金は私の希望を与えてくれました。募金して下さいた方々への感謝は本当に大きなものです。この恩は私が一生懸命生きる事で返していきたいと思ひます。本当にお世話になりました。



私たちの中学校は壊滅的な被害を受けました。ほとんどの当時、中学校ではなかったため、ほとんどの今いる中学校は、そのために仮設校舎になり、そこで、学校生活を送っています。大震災のとき、両親の会社が被害を受け、普通に仕事を出来る状態ではありませんでした。特に父の会社は水産業だったので、大変でした。魚がとれるまでは、かたづけにまわかれ、かいにされました。そのため、収入が減ったため、このような支援をしていただけることになってとても助かりました。ほとんども高校に入って勉強や部活をがんばりたいです。そして、この奨学金のために募金をしてくださいました。ありがとうございます。今でも、健康に学校生活をくらしています。

～保護者より～  
多大な御支援を頂きありがとうございます。  
震災に遭い私達の家族は、このままどうあかるとは出来ないのではと思う日々を過ごし、生活全般をとり戻す為、毎日不安との戦いでいた。震災当日、小学六年で卒業式、真夏の幸せな生活を送り、何ヶ月もなく、中学へ入学と聞いている夫先でいた。子供が通っていた小学校は津波により大きな被害にあり、六年間の学舎は、無難な姿に留まりました。校舎には、卒業アルバムが子供達の午元に渡される事なくドロドロになってしまっていました。それから五年の月日が経ち、高台移転の為に山は崩れ、津波の被害がひどい所に土地で、盛り土していません。そのため、今まで住み慣れた風景は、赤茶色の土肌が目立つ「あれ地」の様です。でも、このあれ地が生まれ変わり、未来への希望の色となる事を信じて復興をこの地で祈り生きていこうと思ひます。

